

埼玉考古学会

研究会「埼玉の縄文時代後晩期研究の現状」

大規模な環状盛土遺構が発見された加須市長竹遺跡の整理作業を通じて明らかとなった重厚な研究成果と、近年の発掘調査で新発見が相次ぐ二つの遺跡の事例報告から、埼玉の縄文時代後晩期研究の現状について考えます。

なお、資料集には発表要旨のほかに、基礎資料として県内の縄文時代後晩期遺跡の集成や地域ごとの概要についてもまとめられています。

記

開催日時 : 令和5年12月2日(土) 13:00~15:40 (受付開始 12:30)

会場 : 埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂 (さいたま市大宮区高鼻町 4-219)

内容 : 開会 13時~13時5分

あいさつ

講座 : 13時5分~14時20分

演題 : 埼玉の縄文時代後晩期研究の現状

講師 : 黒坂禎二氏 (公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団)

— 休憩 14時20分~14時30分 —

遺跡報告 : 14時30分~15時30分

報告遺跡 ① : 飯能市加能里遺跡

発表者 : 宮内慶介氏 (飯能市教育委員会 生涯学習課)

時間 : 14時30分~15時

報告遺跡 ② : 川口市宮合貝塚遺跡

発表者 : 浅井 希氏 (川口市教育委員会 文化財課)

時間 : 15時~15時30分

閉会 15時30分~15時40分

定員 : 150名

費用 : 1000円程度 (資料代)

申込方法 : 事前申し込み不要、当日先着順。(だれでも参加できます。)

会員以外の方の参加も大歓迎!

会場へのアクセスは、埼玉県立歴史と民俗の博物館ホームページ (<https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/>) をご覧ください。